



発行日/2021年 7月15日 ●発行 船橋市リハビリセンター ●発行責任者 センター長 石原 茂樹
TEL (047) 468-2001 FAX (047) 468-2059 URL <http://www.funabashi-reha.com/>



船橋市立リハビリテーション病院



One for all,
All for one

石川 誠 氏



船橋市リハビリセンター

石川 誠 氏 の 船橋市における足跡



センター長 石原 茂樹

医療法人社団輝生会の会長である石川 誠氏が亡くなった。

人生100年時代といわれる今、74歳ではあまりにも早すぎる死です。そして、この死に対して、私も含め、多くの関係者が深い悲しみに包まれています。

この号では、彼について、船橋市でどのような役割を果たしてくれたのか、振り返ってみようと思います。

船橋市立リハビリテーション病院の指定管理者

船橋市との関係は、船橋市・船橋市医師会の関係者から、回復期リハ病院設立に際し、彼に白羽の矢が立ったことがきっかけです。船橋市立リハビリテーション病院は2008年に彼を指定管理者として開設され、当初は病院経営は厳しい状況でしたが、質の良いリハビリや食事を提供し、多くの患者さんをチームで支えてきました。

船橋市地域リハ研究会の立ち上げ

時は、団塊世代が後期高齢者になる2025年問題があり、地域包括ケア体制の構築が課題となっていました。そのためは、地域におけるリハビリテーションが重要であるとの強い信念から、行政関係者や多くのリハビリ関係者とタッグを組んで、「船橋市地域リハ研究会」の世話人の一人として草の根的な活動を指導してきました。

啓発活動としての地域リハ拠点事業への展開

船橋市地域リハ研究会では、地区勉強会、介護職勉強

会、摂食栄養サポート勉強会を実施、加えて、日本における著名な講演者を招請しての市民公開講座、研究大会などを開催し、船橋市民への啓発やリハビリを支える人材育成にも大きな役割を果たしてきました。この活動は、2014年4月からは船橋市リハビリセンターが地域リハ拠点事業として引き継いで行っています。研究会は2016年からは、船橋在宅医療ひまわりネットワークの「地域リハ推進委員会」として活動を継続しています。

シルバーリハビリ体操導入の仕掛人

また、2012年に開催された市民公開講座にシルバーリハビリ体操の考案者である大田仁史先生を招き、船橋市がシルバーリハビリ体操を介護予防事業として取り入れるきっかけ作りもしています。

『寝たきり老人』のいる国 いない国』の著者大熊由紀子氏は、石川 誠氏の逝去の報に接し、「彼はリハビリテーションの革命児」と高く評価していました。船橋市のみでなく日本においても、回復期リハ病棟協会初代会長として回復期リハ病棟の充実に、生涯情熱をもって尽力した彼には、まさにこの言葉がふさわしい活躍ぶりでした。彼の座右の銘は、「One for all, All for one」。

石川 誠氏が亡くなった事は、非常に残念ではありますが、我々はその意思を継いで、船橋市のリハビリを含めた、医療・介護・福祉の充実に、今後ますます貢献していこうと決意しています。

合掌。

輝生会の基本理念 ■ 「人間の尊厳」の保持 ■ 「地域リハビリテーション」の推進 ■ 「情報」の開示 ■ 「主体性・自己決定権」の尊重 ■ 「ノーマライゼーション」の実現

船橋市リハビリセンタークリニックのスタッフ紹介です。
今回は、サポート部・ケアワーカー・ソーシャルワーカー、ドライバーの4職種を紹介します。

私たちは、外来リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリを通して、
利用者さんが、
再び輝いて、その人らしい生活ができるように支援していきます。

受付（サポート部・看護師）



7名

サポート部と看護師がおり、診察案内や事務手続きを行っています。

弾ける笑顔でお待ちしております！

ケアワーカー



3名

送迎や自主トレーニングのお手伝い、排泄介助を行っています。

排泄用品でお困りの際はぜひご相談ください。

ソーシャルワーカー



2名

リハビリや各種制度についての相談を行っています。
分からないことがあればお気軽にご相談ください。

ドライバー



8名+1名

通所リハビリやリハビリ事業の利用者さんの送迎を行っています。「安全第一」を合言葉にしています。

皆様が気持ちよくリハビリを行えるよう、スタッフ一同お待ちしております。
お気づきの点があればお近くのスタッフにお声掛け下さい。

外来・通所・訪問リハビリを希望される方は、
船橋市リハビリセンター（047-468-2001）までご相談ください。



年々暑さが厳しくなっており、食欲がなくなる事もありますか？
 栄養面が心配になる方もいるでしょう。
 そんな時ドラッグストア・スーパー・コンビニで手軽に購入できるゼリー飲料の例を
 ご紹介します。様々な種類があるため、何を選んだら？と迷ったら、
 こんなポイントで選んでみてはどうでしょう。

○カロリーがとれる



1パックで180～200kcal程度の
 カロリー（おにぎり1個と同程度）
 が取れます。ビタミン・ミネラル
 類も含んでいるものが多いです。

○ビタミン類を手軽に



通常のジュースよりビタミン類が
 含まれます。ローヤルゼリーや乳
 酸菌、ミネラル類も摂取できるも
 のもあります。

○疲労回復・熱中症予防に



アミノ酸・クエン酸が多く含まれて
 おり、運動前後や体を使う方にお勧
 めです。

○タンパク質補給



筋肉や体づくりに必須の栄養素を
 手軽に摂取できます。

○腸活に。食物繊維



成人で1日18～20gの食物繊維
 が必要とされています。1日の
 1/3程度の食物繊維が摂取できます。

○脱水・熱中症予防に



脱水や熱中症の予防・改善に良い経
 口補水液ですが、最近はゼリータイ
 プもあります。

当ステーションの看護師にて、とある暑い日に飲み比べしてみました。

- A: 大塚製薬 OS-1 経口補水液の代表的なものです。少し塩気を感じますが、思ったより飲みにくくはありませんでした。
 - B: 大塚製薬 OS-1 ゼリー OS-1のゼリータイプ。Aの液体に比べ、味も甘みを感じられるのとゼリーが滑らかで飲みやすいです。咽喉痛がある時でも美味しく飲めそうです。
 - C: 五洲薬品 経口補水 S-OS ゼリー こちらも飲みやすいゼリータイプです。OS-1よりも少し酸味が感じられさわやかに飲めます。
- OS-1 ゼリーと S-OS ゼリーで好みは分かれてましたが、
 試飲した看護師全員ともゼリータイプは飲みやすい！という結論になりました。



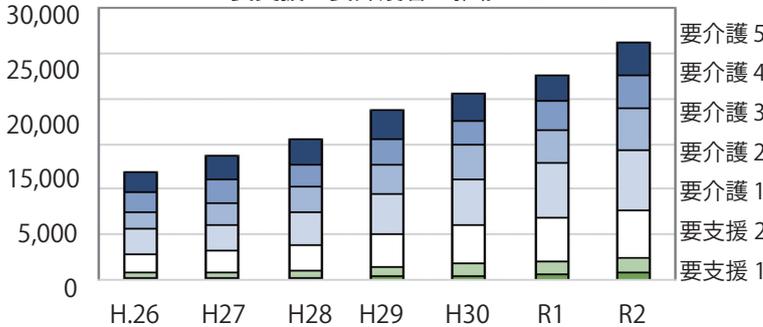
*ちなみに、水分吸収速度の速いスポーツドリンクの定番・ポカリスエットと経口補水液を比べると、経口補水液の塩分やカリウムはポカリスエットの倍以上含まれています。（塩分やカリウム制限のある方は医師へ確認してください。）

訪問看護を必要とされる場合、訪問看護ステーション：所長 横山恭子 または ソーシャルワーカーまでお気軽にお電話（047-773-0319）ください。

※船橋市地域リハビリテーション協議会において、船橋市における地域リハビリテーションのあゆみと展望がまとめられました。（一部を抜粋してみました。）

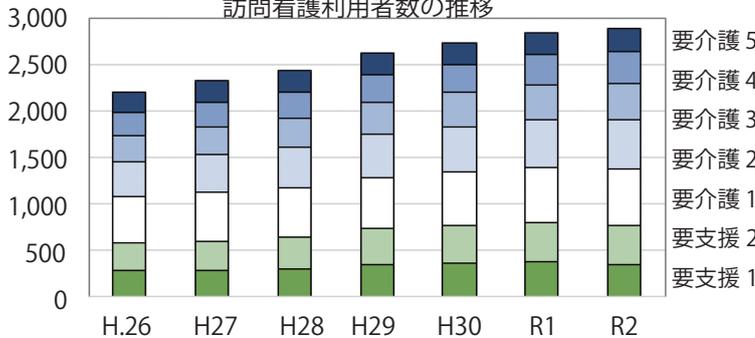
「生活期リハビリテーション実態調査」 報告

要支援・要介護者の推移



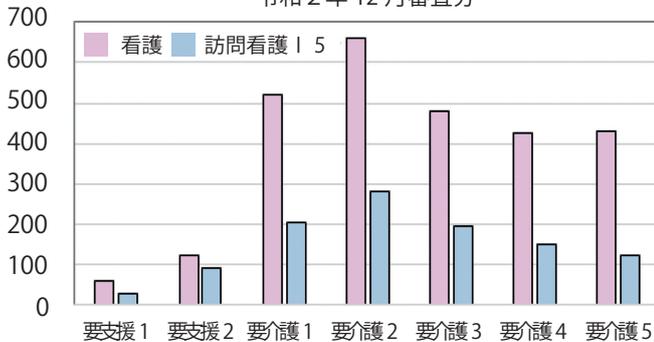
船橋市における平成26年～令和2年の10月の要支援・要介護者数の推移をみると、毎年5%程度の増加を示しこの6年間で1.3倍に増加し、令和2年10月には28,842人となっています。

訪問看護利用者数の推移



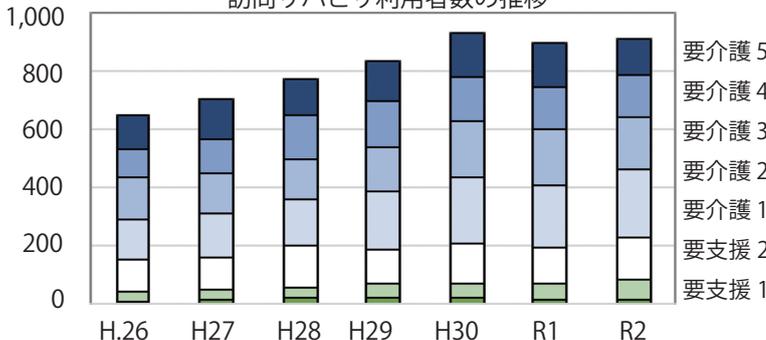
訪問看護の利用者数は6年間で2.2倍に増加しており、毎年10～20%の増加を認め、令和2年12月審査分では2,709人が利用しており、平成26年の2.2倍となった。要支援・要介護者の増加率1.3倍と比べ、大きく増加しています。

訪問看護ステーションの看護と訪問看護Ⅰ5（リハ）の要介護度別利用者数
令和2年12月審査分



令和2年12月審査分の訪問看護ステーションからの看護師の訪問と理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による訪問（訪問看護Ⅰ5）の利用者数を要介護度別に比較すると、看護師の訪問利用者は2,709人、訪問看護Ⅰ5は1,075人であり2.5倍でした。

訪問リハビリ利用者数の推移



一方、訪問リハの利用者数は、平成30年までは8～12%/年の増加を認めましたが、平成30年をピークに若干減少傾向にあります。令和2年には911人となり、平成26年の642人の1.4倍の用者数となり、要支援・要介護者の増加率1.3倍と同等の増加を示しています。

地域リハビリ拠点事業のホームページは船橋市リハビリセンター HP 内にあります。地域リハビリ拠点事業

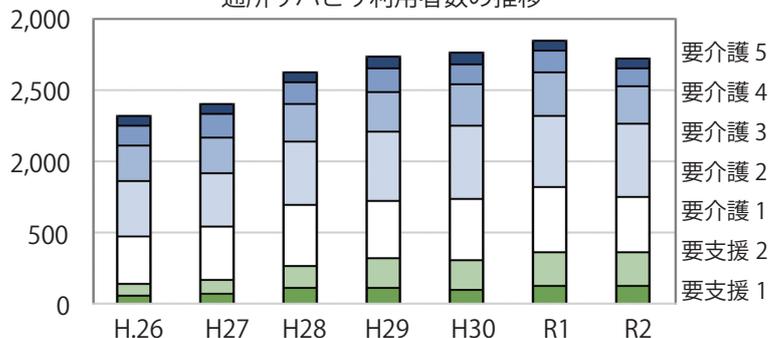
このQRコードで直接アクセスできます。

ホームページQR

活動状況の閲覧、勉強会の申込書などが格納されていますので、ブックマーク登録してご活用ください。

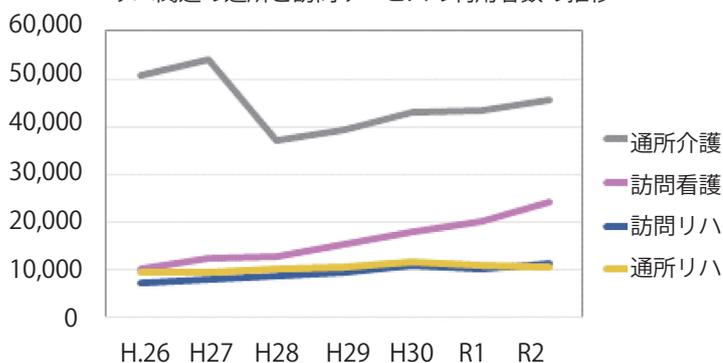


通所リハビリ利用者数の推移



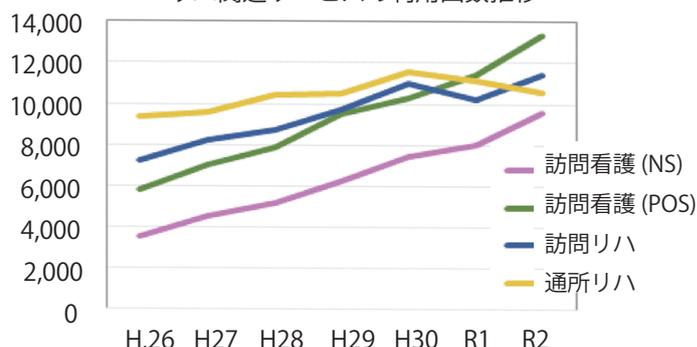
通所リハの利用者数は令和元年までの5年間で40%の増加を認め、令和元年の利用者数は1,858人でした。しかし、令和2年には7%の減少となりましたが、これは新型コロナによるものと推測でき、一時的な現象と考えられます。

リハ関連の通所と訪問サービスの利用者数の推移



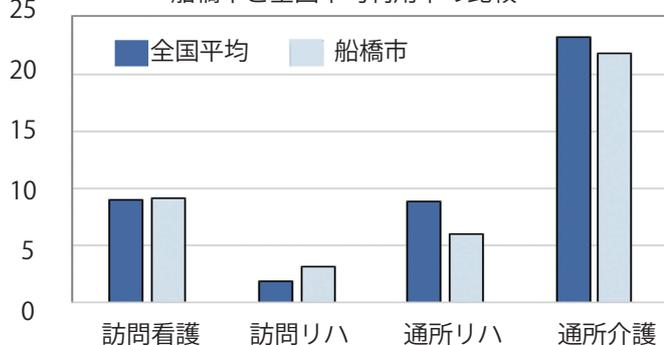
リハ関連の通所と訪問サービスの利用者数推移を比較すると、訪問リハと通所リハの増加は乏しく、訪問看護の利用者増が際立っていることがわかります。

リハ関連サービスの利用回数推移



リハ関連サービスの利用回数の推移をみると、看護による訪問看護とPT・OT・STによる訪問看護(訪問看護I 5)の増加が顕著であり、通所リハの利用回数は減少傾向にある。

船橋市と全国平均利用率の比較



令和2年12月審査分の全国の訪問看護、訪問リハ、通所リハ、通所介護の平均利用率(利用者数/要支援・要介護者数、通所介護は利用者数/要介護者数)と船橋市における利用率を比較すると、船橋市では訪問看護と通所介護の差はわずかであるが、訪問リハは全国平均の1.7倍、通所リハは2/3と格差が大きいことが特徴となっている。

以上のことから、船橋市の生活期リハビリテーションサービスの提供体制を全国平均と比較すると、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による訪問サービスは量的にほぼ充足されたと考えて良いと思われます。しかし、通所リハの利用が低調であることは今後の課題と考えられます。

船橋在宅医療ひまわりネットワーク

地域リハ推進委員会 報告 2021年5月27日(木)

2021年度のおおよその活動が決定しました。

地区勉強会 8月2日(月)、11月25日(木)

集合しての研修は難しいことを見込み、Web開催する予定です。コロナ禍において、どのようにして住民の皆さんの生活を支えていくか、多職種で検討する貴重な場としていきたいと考えています。

摂食栄養サポート勉強会 9月と2月の予定です。

船橋歯科医師会、船橋市栄養士会、船橋市介護支援専門員協議会、船橋市立リハビリ病院 ST 等が協力して企画・運営しているこの勉強会では、食べる事や栄養にまつわることを様々な角度から学んでいます。今年度も Web で開催する予定です。

リハビリ事業 (介護予防)

介護予防を図る目的で

市内に住む 65 歳以上の身体機能の低下がみられる方を対象に、実施している事業が「リハビリ事業」です。



「リハビリ事業」では、パワーリハビリ教室、パワーリハビリフォローアップ、プールリハビリを行っています。利用料金はそれぞれ 250 円です。飯山満駅・薬園台駅・東船橋駅から巡回バスも運行しています。

パワーリハビリ教室

『週 2 回 / 1 回 80 分 / 約 3 ヶ月間』

機器を使った軽い筋力トレーニングを行います。
この教室を通してパワーリハビリテーションの
トレーニングの理論・方法や、機器の操作方法を習得します。



パワーリハビリフォローアップ

パワーリハビリ教室を修了した方が移行するコースです。最大週 3 回の利用が可能です。
健康維持、体力作り、仲間との交流などを通じ継続的な運動習慣の定着を図ります。



プールリハビリ

水中歩行専用のプールです（遊泳はできません）。
水中での抵抗や浮力を利用して歩行や体力の向上を目指します。
最大週 2 回の利用が可能です。

水温 約 32℃
水深 90 cm
外周 21.4 m 内周 17 m



プール全景

<利用の手続き>

パワーリハビリ教室：年に 4 回、3 カ月おきに船橋市の広報にて公募（2/15・5/15・8/15・11/15 の号にて掲載）
プールリハビリ：随時受け付けています。

船橋市リハビリセンター 電話番号 047-468-2001 へお問い合わせください。

委員会より

サービス向上委員会

私たちの取り組み 「接遇と私」

輝生会では「よりよい接遇をめざして」を、合い言葉にして、日々の業務に取り組んでいます。

当センターでは、特に月に1回、『私たちの約束』の定着を目標に接遇について、各スタッフが心がけていることを話してもらうことにしています。

その内容は「足跡」ファイルにまとめています。



今回は「足跡」に掲載された作業療法士の佐々木智也さんが話された「自分の状態の確認と身だしなみ」を紹介します。



私は、気分や自分の状態が利用者さんへの対応にも反映してしまうことがあるため、利用者さんに声をかける前に、ワテンポ間を置いて自分の状態を確認した上で、相手がどう思うかを考えるようにしています。次なる課題としては、身だしなみであり特にシャツやネームプレートの見え方に気をつけていこうと思います。

倫理委員会から

リハビリセンターでは、業務中に感じたこと、気づいたことを「モヤっと」と題して、朝礼時に発表してきました。最近では、倫理的な課題に焦点を絞り、業務中に感じた「どうもおかしい」「何となくしっくりこない」というような事を、倫理的な課題として分析し、【モヤットの披露】という形で発表をしています。

- 倫理4原則である
- ①自律尊重の原則
 - ②善行の原則
 - ③無危害の原則
 - ④公正の原則

に照らしあわせて、何が起きているのかを考え整理します。そして発表された症例について倫理委員会にて分析を行い全体へフィードバックします。

～ もやっとの披露～

有料老人ホームで生活している訪問リハ利用者さん。身体機能の向上に伴い、トイレでの排泄について、施設スタッフに提案したが、マンパワー不足として見送られている。このことに「もやっと」している。



<自立尊重 ⇄ 無危害> (山下 悠貴 PT) 委員会：トイレで排泄する方が本人にとって良いのではという<善行>とマンパワー不足のため、その人にだけに時間が取れない<公正>との対立という見方もできるのではとの意見あり。 <善行 ⇄ 公正>



スタッフ紹介

新入・異動スタッフに質問

- ①生まれた所・育った所
- ②趣味など
- ③専門職として心がけていること



(平野 千晴 OT)

- ①生まれは船橋市ですが、南房総市で小・中・高を過ごしました。
- ②YouTube をみること、雑貨やアクセサリーを集めること、甘いものを食べること (特にアイスクリーム)。
- ③本人にとって、リハビリがいやにならないように、雰囲気づくりや意欲を引き出すことを意識しています。

そして、一緒に達成感を味わえたら、最高にうれしくなります。



(南園 歩 ST)

- ①岩手県花巻市 宮沢賢治記念館があります。大谷選手の出生地です。
- ②おいしいものを探して食べること。最近はキットカットが好き。
- ③その日のリハビリの中で、利用者さんの笑顔や疑問など、感情を引き出すことができるように、声をかけをし、コミュニケーションがとれるように意識しています。

地域の施設紹介

医療法人社団 睦会

いけだ病院

〒 274-0824 千葉県船橋市前原東 1 丁目 6 番 4 号
TEL : 047-472-7171



院長紹介



(松岡 かおり 先生)

メッセージ

この地に根差して 50 年以上、私たちは地域の「かかりつけ」を目指し活動しています。みなさまのニーズに合わせて、外来のリハ・通所リハ・訪問リハをアレンジ致します。足が運べず転びそうで不安、慢性的な痛みがづらいなど、お困りごとをぜひご相談ください。

今号では、日ごろ連携を取らせていただいている、いけだ病院をご紹介します。

いけだ病院は、昭和 39 年に開院した、津田沼駅に近い前原東にある医療機関です。入院は、医療療養型という病棟が 48 床あり、主に、医療が必要で、長期に入院を必要とする方が入院されています。入院以外では、外来診療だけでなく、通院が困難な方に対して訪問診療を行ったり、併設の訪問看護ステーションから 24 時間対応の訪問看護を実施され、地域住民の方の療養生活を支えています。また、リハビリテーションにも力を入れており、医療的リハビリの段階を終了した方へ、日常生活での自立を目的とし、身体機能の維持や向上を目指して支援する 1-2 時間型の短時間通所リハビリも行っています。

理事長であり、院長の松岡かおり先生は、千葉県医師会の活動も積極的に行っておられ、千葉県全体の医療の発展に尽力されています。船橋市では、市立リハビリ病院が開院以来、地域リハビリテーションの推進に積極的に関わってくださっています。



松岡先生とリハビリスタッフの皆さん

利用者さんの声から

夫婦二人三脚です

小倉 英也さん夫妻

2019 年 1 月、医療センター入院中に、突然の意識障害、構音障害、左片麻痺があり、脳梗塞と診断され、緊急の血栓回収療法を受けています。幸い退院時までは、日常生活は自立出来ました。主治医の先生からは、船橋市リハビリセンターでのリハビリを勧められ、利用する運びとなっています。その後、大腸の手術も受け、体力の低下を痛感し、食べることや運動することに気を使っています。

リハビリの目的は、運動機能の改善と体力の向上です。希望は、体力をつけ、自由に旅行が出来るようになることです。特に出身地の関西地方へ行き、墓参りをしたり友人と会いたいと思っています。

センターに週 1 回通い、療法士の方々の行き届いた指導には大変喜んでます。その他、センターに行くと、担当の方はもちろんいろいろな方から声がかかります。夫婦 2 人暮らしなのでなかなか他の人々と触れ合うことがありません。

センターの皆様との触れ合いは、身体面だけでなくメンタル面にとっては、何よりのリハビリになります。

これからもよろしくお願いします。



船橋市リハビリセンター 案内図



【編集後記】今号は私とは大学時代からの友人であり、義兄でもあります石川誠氏の追悼文を掲載させていただきました。在りし日の様々な思い出が脳裏をよぎります。さて、クリニック事業ではセンターを支えるスタッフ紹介第 2 弾、訪問看護では多彩なゼリー飲料の紹介、地域リハ拠点事業では船橋市における生活期におけるリハビリ動向調査報告を掲載しました。委員会からはセンターにおける接遇や倫理課題への取り組み、地域の施設ではいけだ病院を紹介しました。松岡先生には、地域リハ研究会の頃から、大変お世話になっています。利用者さんの声では、仲睦まじい小倉さん夫妻を紹介させていただきました。(石原茂樹)

船橋市リハビリセンター 〒 274-0822 千葉県船橋市飯山満町 2-519-3 TEL (047) 468-2001 FAX (047) 468-2059